

[05_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467999>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (2), 1972-04-27. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

CARDCOPYプログラムのレベルアップについて

1. レベルアップ事項

- (1) カード識別欄の識別名およびシーケンスが追加あるいは修正できる。
- (2) // // の後のスペースを2個以上あけても良いようにしました。

2. コントロールカードの説明

// // / [m] [, n] [, ID = ▼ abc [, i] [, j] ▼]

- (1) m = LP部数、n = CP部数、i = シーケンスの初期値、j = シーケンスのきざみ、abc = 識別名 (3文字以内)
- (2) [] の中は省略可を示します。
- (3) ID = ▼ [] ▼ は73~80欄の識別名およびシーケンスを指示します。

3. 注意事項

- (1) m, n がともに省略かゼロの時はLPのみ1部となります。
例 // // / (71欄までブランクの時) …… LP 1部
- (2) i, j は共に省略すると、どちらも10となります。
例 // // / [] 0, 2, ID = ▼ ABC ▼ …… CP 2部、カード識別名がABCで初期値およびきざみは10

4. ジョブ依頼例

\$ NO
\$ QJOB
\$ CARDCOPY

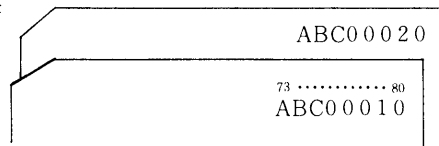
// // / [] 1, 2, ID = ▼ ABC, 10, 10 ▼

データ 1

// // / [] 2

データ 2

結果



\$ *
\$ SYSPCH
\$ JEND

} パンチ出力がある時これらのカードを入れてください。